

Storage Center 7.4 リリースノート

本書では、Storage Center 7.4 の新しい機能、拡張機能、修正された問題、および既知の問題について説明します。

現在のバージョン：7.4.21

前のバージョン：7.4.20

トピック：

- [文書の変更履歴](#)
- [互換性](#)
- [Storage Center 7.4.21 の新機能](#)
- [Storage Center 7.4.10 の新機能](#)
- [Storage Center 7.4.2 の新機能](#)
- [Storage Center 7.4 の機能の可用性とライセンス](#)
- [Storage Center 7.4 の拡張性](#)
- [修正された問題](#)
- [既知の問題](#)
- [制限](#)
- [サポートリソース](#)

文書の変更履歴

| リビジョン | 日付 | 説明 |
|-------|----------|---|
| A | 2019年8月 | Storage Center 7.4 のイニシャルリリース |
| B | 2019年10月 | SCOS-58743 を「既知の問題」に追加 |
| C | 2020年1月 | SCOS-55504 を「修正された問題」から削除し、SCOS-59639 および SCOS-55685 を「既知の問題」に追加。自動フェールオーバー付き Live Volume をサポートするハイパーバイザー プラットフォームを追加 |
| D | 2020年2月 | Storage Center 7.4.10 に対応した更新 |
| E | 2020年7月 | Storage Center 7.4.20 に対応した更新 |
| F | 2020年8月 | Storage Center 7.4.21 に対応した更新 |
| G | 2020年12月 | SCOS-60092 および SCOS-62354 を「既知の問題」に追加 |
| H | 2021年3月 | 自動フェールオーバー付き Live Volume の項に VMware vSphere 7.0 を追加。データ削減の修正された問題に SCOS-60438 を追加。ベンダーに関連する既知の問題に SCOS-62922 を追加。 |

互換性

Storage Center 7.4 と互換性があるストレージ システムを以下に示します。

- SC9000
- SC8000
- SC7020F
- SC7020
- SC5020F
- SC5020
- SC4020

- SCv3000 シリーズ
- SCv2000 シリーズ

メモ: Storage Center 7.4 では、速度が混在する形での拡張エンクロージャーのケーブル接続がサポートされています。SC400、SC420、および SC420F 拡張エンクロージャーは、SC200 および SC220 拡張エンクロージャーとケーブル接続できます。

Storage Center 7.4.21 の新機能

Storage Center 7.4.21 では次の機能が追加および改善されました。

自動フェールオーバー付き Live Volume のサポート

自動フェールオーバー機能付きの Live Volume は、Storage Center 7.4.21 で次のハイパーバイザー プラットフォームをサポートします。

- Windows Server 2019 Hyper-V
- Windows Server 2016 Hyper-V
- Windows Server 2012 R2 Hyper-V
- Windows Server 2012 Hyper-V
- VMware vSphere 7.0
- VMware vSphere 6.7
- VMware vSphere 6.5
- VMware vSphere 6.0
- VMware vSphere 5.5

Storage Center 7.4.10 の新機能

Storage Center 7.4.10 では次の機能が追加および改善されました。

容量レポートの改善

Storage Center 7.4.10 では容量レポートの改善が行われており、これは Storage Manager Client および Unisphere Web インターフェイスで確認できます。

Storage Center 7.4.2 の新機能

Storage Center 7.4.2 では、次の機能が追加および強化されました。

CloudIQ サポート

CloudIQ は、Web ブラウザーを使用してストレージ システムのパフォーマンス、容量、構成、健全性をリモートで監視する機能を提供します。

CloudIQ の基本サポートは、Storage Center 7.3 に導入されました。

Storage Center 7.4 は CloudIQ を完全にサポートしています。これには、CloudIQ にストレージ システムを登録するプロセスを簡素化する自動化されたオンボーディング機能が含まれます。

自動フェールオーバー付き Live Volume のサポート

自動フェールオーバー機能付きの Live Volume は、Storage Center 7.4.2 で次のハイパーバイザー プラットフォームをサポートします。

- Windows Server 2016 Hyper-V

- Windows Server 2012 R2 Hyper-V
- Windows Server 2012 Hyper-V
- VMware vSphere 6.7
- VMware vSphere 6.5
- VMware vSphere 6.0
- VMware vSphere 5.5

パフォーマンスの向上

Storage Center 7.4 では、Storage Center ソフトウェアのパフォーマンスが向上しています。

SSL 証明書の改善

SSL 証明書の処理が改善され、次の機能が有効になりました。

- チェーン接続された SSL 証明書のインポート
- ワイルドカード証明書

Unisphere を使用した Storage Center の初期設定

Storage Center 7.4 の Unisphere Web インターフェイスを使用して、次のストレージシステムの初期設定を実行できます。

- SC9000
- SC7020F
- SC7020
- SC5020F
- SC5020
- SCv3000 シリーズ

Storage Manager 2019 R1

Storage Center 7.4 を実行するストレージシステムを管理するには、Storage Manager 2019 R1 以降が必要です。

Veeam スナップショットの統合

Storage Center 7.4 には、Veeam Backup および Replication 9.5 とのスナップショット統合のサポートが含まれています。

Storage Center 向けの Veeam Backup および Replication Plug-in は、Veeam Web サイトからダウンロードできます。

プラグインは、次の Storage Center オブジェクトをサポートしていません。

- FluidFS ボリューム
- Live Volume
- VVol

Windows Server 2019

Windows Server 2019 を実行するホストのサポートが Storage Center 7.4 に追加されました。

Storage Center 7.4 の機能の可用性とライセンス

コア ライセンス、およびライセンスが必要なオプション機能のサポートは、ストレージ システムによって異なります。

SC9000 の機能とライセンス

SC9000 ストレージ システムでは、次のライセンス機能およびオプションの付加価値バンドルを使用できます。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------------|--|
| コアソフトウェアバンドル | <ul style="list-style-type: none">● データ削減 (圧縮と重複排除)● Dell Storage Manager● Dynamic Capacity● ダイナミックコントローラ● Live Migrate● ローカル データ保護<ul style="list-style-type: none">○ Data Instant Replay (スナップショット)○ 手動リプレイ (スナップショット)● Multi-VLAN タグ付け● 仮想ポート● ボリュームの QoS● VVol |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none">● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション)● リプレイマネージャー● SED FIPS Secure Data● Storage Manager Chargeback |
| ストレージ最適化バンドル | <ul style="list-style-type: none">● Data Progression● 高速トラック |
| ストレージプロテクションバンドル | <ul style="list-style-type: none">● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション)● リプレイマネージャー |
| 総機能バンドル | <ul style="list-style-type: none">● SED FIPS Secure Data● Storage Manager Chargeback● ストレージ最適化バンドル● ストレージプロテクションバンドル |

SC8000 の機能とライセンス

SC8000 ストレージ システムでは、次のライセンス機能を使用できます。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|--------------|--|
| コアソフトウェアバンドル | <ul style="list-style-type: none">● データ削減 (圧縮と重複排除)● Dell Storage Manager● Dynamic Capacity● ダイナミックコントローラ● Live Migrate● ローカル データ保護<ul style="list-style-type: none">○ Data Instant Replay (スナップショット)○ 手動リプレイ (スナップショット)● Multi-VLAN タグ付け● 仮想ポート● ボリュームの QoS● VVol |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none">● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション)● リプレイマネージャー |

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ● SED FIPS Secure Data ● Storage Manager Chargeback |

SC7020F および SC5020F の機能とライセンス

SC7020F および SC5020F オールフラッシュ ストレージ システムでは、次のライセンス機能がサポートされています。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------|---|
| 総機能バンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● Data Progression ● データ削減 (圧縮と重複排除) ● Dell Storage Manager ● Dynamic Capacity ● ダイナミックコントローラ ● Live Migrate ● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume ● ローカル データ保護 <ul style="list-style-type: none"> ○ Data Instant Replay (スナップショット) ○ 手動リプレイ (スナップショット) ● Multi-VLAN タグ付け ● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) ● リプレイマネージャー ● SED FIPS Secure Data ● Storage Manager Chargeback ● 仮想ポート ● ボリュームの QoS ● VVol |

SC7020 および SC5020 の機能とライセンス

SC7020 および SC5020 ストレージ システムでは、次のライセンス機能およびオプションの付加価値バンドルがサポートされています。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------------|--|
| コアソフトウェアバンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● データ削減 (圧縮と重複排除) ● Dell Storage Manager ● Dynamic Capacity ● ダイナミックコントローラ ● Live Migrate ● ローカル データ保護 <ul style="list-style-type: none"> ○ Data Instant Replay (スナップショット) ○ 手動リプレイ (スナップショット) ● Multi-VLAN タグ付け ● 仮想ポート ● ボリュームの QoS ● VVol |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> ● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume ● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) ● リプレイマネージャー ● SED FIPS Secure Data ● Storage Manager Chargeback |
| ストレージプロテクションバンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume |

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|--------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) リプレイマネージャー |
| ストレージ最適化バンドル | <ul style="list-style-type: none"> Data Progression 高速トラック |
| 総機能バンドル | <ul style="list-style-type: none"> SED FIPS Secure Data Storage Manager Chargeback ストレージ最適化バンドル ストレージプロテクションバンドル |

SC4020 の機能とライセンス

SC4020 ストレージ システムでは、次のライセンス機能およびオプションの付加価値バンドルがサポートされています。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------------------------|--|
| コアライセンス | <ul style="list-style-type: none"> データ削減 (圧縮と重複排除) Dell Storage Manager Dynamic Capacity ダイナミックコントローラ Live Migrate ローカル データ保護 <ul style="list-style-type: none"> Data Instant Replay (スナップショット) 手動リプレイ (スナップショット) Multi-VLAN タグ付け 仮想ポート ボリュームの QoS VVol |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) リプレイマネージャー SED FIPS Secure Data Storage Manager Chargeback |
| パフォーマンス / 最適化バンドル | <ul style="list-style-type: none"> Data Progression 高速トラック |
| リモート データ保護バンドル | クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) |
| Live Volume でのリモート データ保護バンドル | <ul style="list-style-type: none"> クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume |

SCv3000 シリーズの機能とライセンス

次のライセンス機能およびオプションの付加価値バンドルは、SCv3000 シリーズのストレージ システムでサポートされています。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|--------------|---|
| コアソフトウェアバンドル | <ul style="list-style-type: none"> データ圧縮 Dell Storage Manager Dynamic Capacity ダイナミックコントローラ Live Migrate ローカル データ保護 <ul style="list-style-type: none"> Data Instant Replay (スナップショット) |

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 手動リプレイ (スナップショット) ● 仮想ポート ● ボリュームの QoS ● VVol |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> ● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume ● リプレイマネージャー ● SED FIPS Secure Data ● Storage Manager Chargeback |
| ストレージプロテクションバンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● Live Volume および自動フェイルオーバーを伴う Live Volume ● クロスプラットフォームレプリケーションを含む、Remote Instant Replay (レプリケーション) ● リプレイマネージャー |
| ストレージ最適化バンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● Data Progression ● 高速トラック |
| 総機能バンドル | <ul style="list-style-type: none"> ● SED FIPS Secure Data ● Storage Manager Chargeback ● ストレージ最適化バンドル ● ストレージプロテクションバンドル |

SCv2000 シリーズの機能とライセンス

SCv2000 シリーズのストレージ システムでは、次のライセンス機能がサポートされています。

| ライセンス/バンドル | ライセンス機能 |
|------------|--|
| コアライセンス | <ul style="list-style-type: none"> ● Dell Storage Manager ● Dynamic Capacity ● ダイナミックコントローラ ● Live Migrate |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> ● フレックスポート ● ローカル データ保護 <ul style="list-style-type: none"> ○ Data Instant Replay (スナップショット) ○ 手動リプレイ (スナップショット) ● リモートデータ保護 (非同期レプリケーションのみ) |

Storage Center7.4 の拡張性

以下の拡張性ガイドラインは、Storage Center 7.4 に適用されます。

ストレージシステムの拡張性ガイドライン

次の拡張性ガイドラインは、Storage Center 7.4 を実行している SC9000、SC8000、SC7020F、SC7020、SC5020F、SC5020、SC4020、SCv3000 シリーズ、SCv2000 シリーズの各ストレージ システムに適用されます。

表 1. デュアルコントローラのストレージシステムの拡張性ガイドライン

| ストレージシステム(コントローラあたりのメモリー) | Raw(512 KB ページ) | アドレス可能 (512 KB ページ) | Raw (2 MB ページ) | アドレス可能 (2 MB ページ) | Raw (4 MB ページ) | アドレス可能 (4 MB ページ) |
|------------------------------|------------------|----------------------|-----------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| SC9000 (128 GB または 256 GB) | 1500 TB | 1000 TB | 6000 TB | 4000 TB | 12,000 TB | 8000 TB |
| SC8000 (64 GB) | 750 TB | 500 TB | 3000 TB | 2000 TB | 3000 TB | 2000 TB |

表 1. デュアルコントローラのストレージシステムの拡張性ガイドライン

| ストレージシステム(コントローラあたりのメモリー) | Raw(512 KB ページ) | アドレス可能 (512 KB ページ) | Raw (2 MB ページ) | アドレス可能 (2 MB ページ) | Raw (4 MB ページ) | アドレス可能 (4 MB ページ) |
|-------------------------------|------------------|----------------------|-----------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| SC7020F または SC7020 (128 GB) | 1000 TB | 650 TB | 4000 TB | 2600 TB | 8000 TB | 5200 TB |
| SC5020F または SC5020 (64 GB) | 540 TB | 350 TB | 2160 TB | 1400 TB | 4320 TB | 2800 TB |
| SC4020 (16 GB) | 263 TB | 175 TB | 1054 TB | 700 TB | 1054 TB | 700 TB |
| SCv3000 シリーズ (16 GB) | 250 TB | 169 TB | 1000 TB | 675 TB | 2000 TB | 1350 TB |
| SCv2000 シリーズ (8 GB) | 168 TB | 112 TB | 672 TB | 450 TB | 該当なし | 該当なし |

メモ: Storage Center 7.2 および Storage Center 7.1 のリリース ノートでは、ページ サイズが 512 KB の SC4020 でサポートされる最大ストレージ容量が、物理容量 500 TB、論理容量 400 TB になっていました。ページ サイズが 512 KB の SC4020 でサポートされる最大ストレージ容量は正しくは、物理容量 263 TB、論理容量 175 TB です。

Storage Center 拡張性ガイドライン

次の拡張性ガイドラインは、Storage Center 7.4 を実行しているストレージ システム用として最も推奨される設計ガイドラインです。

表 2. Storage Center 拡張性ガイドライン - SC9000、SC8000、SC7020F、SC7020、SC5020F、SC5020、SC4020 の各ストレージシステム向け

| Storage Center オブジェクト | 最大サポート |
|---------------------------------|---|
| ドライブ | <ul style="list-style-type: none"> SC9000 – 1024 ドライブ (合計数)、192 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SC8000 – 960 ドライブ (合計数)、168 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SC7020F または SC7020 – 606 ドライブ (合計数)、192 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SC5020F または SC5020 – 222 ドライブ (合計数)、192 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SC4020 – 192 ドライブ (合計数)、168 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) |
| ディスクフォルダ | 10 ディスクフォルダ |
| サーバ | <ul style="list-style-type: none"> 500 サーバ (サーバの合計数には物理サーバ、仮想サーバ、サーバクラスタが含まれる) 500 サーバフォルダ 1000 サーバの HBA イニシエータポート (HBA イニシエータポートの合計数には SAN に表示できるすべての物理 / 仮想ポートが含まれる) |
| ボリューム | <ul style="list-style-type: none"> 最大ボリューム サイズ 500 TB (またはアドレス可能な最大ストレージ容量、いずれか小さい方) 2000 ボリューム 500 ボリュームフォルダ |
| 重複排除 | 1 PB データ取得制限 (SC4020 - 500 TB データ取得制限) |
| Data Instant Replay(スナップショット) | <ul style="list-style-type: none"> スナップショット : <ul style="list-style-type: none"> SC9000 - 32,000 のスナップショット SC8000 - 16,000 のスナップショット SC7020F または SC7020 - 16,000 のスナップショット SC5020F または SC5020 - 8000 のスナップショット SC4020 - 8000 のスナップショット 1000 のスナップショットプロファイル 100 のスナップショット履歴プロファイル 200 コンシステンシー グループ 100 ボリューム (コンシステンシーグループごと) <ul style="list-style-type: none"> SC5020F または SC5020 – 50 ボリューム (コンシステンシーグループごと) SC4020 – 40 ボリューム (コンシステンシーグループごと) |

表 2. Storage Center 拡張性ガイドライン - SC9000、SC8000、SC7020F、SC7020、SC5020F、SC5020、SC4020 の各ストレージシステム向け

Storage Center オブジェクト 最大サポート

| | |
|-------------|--|
| レプリケーション | <ul style="list-style-type: none"> ソースレプリケーション： <ul style="list-style-type: none"> SC9000 - 1000 のソースレプリケーション SC8000 - 500 のソースレプリケーション SC7020F または SC7020 - 1000 のソースレプリケーション SC5020F または SC5020 - 500 のソースレプリケーション SC4020 - 500 のソースレプリケーション 2000 ターゲットレプリケーション <ul style="list-style-type: none"> SC4020 (ファイバチャネルフロントエンドポート搭載) - 1000 レプリケーション SC4020 (iSCSI フロントエンドポート搭載) - 230 レプリケーション |
| Live Volume | <ul style="list-style-type: none"> 500 Live Volume 自動フェールオーバー機能を備えた 150 個の Live Volume |
| QoS プロファイル | <ul style="list-style-type: none"> 100 ボリュームの QoS プロファイル 100 グループの QoS プロファイル グループの QoS プロファイルごとに 100 ボリューム |
| シンインポート | 10 ボリューム (最大同時インポート) |

表 3. Storage Center 拡張性ガイドライン - SCv3000 シリーズのストレージシステム向け

Storage Center オブジェクト 最大サポート

| | |
|-------------------------------|--|
| ドライブ | <ul style="list-style-type: none"> SCv3000 - 208 ドライブ (合計数)、192 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SCv3020 - 222 ドライブ (合計数)、192 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) |
| ディスクフォルダ | 10 ディスクフォルダ |
| サーバ | <ul style="list-style-type: none"> 250 サーバ (サーバの合計数には物理サーバ、仮想サーバ、サーバクラスタが含まれる) 250 サーバフォルダ 500 サーバの HBA イニシエータポート (HBA イニシエータポートの合計数には SAN に表示できるすべての物理 / 仮想ポートが含まれる) |
| ボリューム | <ul style="list-style-type: none"> 最大ボリューム サイズ 500 TB (またはアドレス可能な最大ストレージ容量、いずれか小さい方) 1000 ボリューム 500 ボリュームフォルダ |
| Data Instant Replay(スナップショット) | <ul style="list-style-type: none"> 4000 のスナップショット 1000 のスナップショットプロファイル 100 のスナップショット履歴プロファイル ボリュームごとに 100 スナップショット 200 コンシステンシーグループ コンシステンシーグループごとに 25 ボリューム |
| レプリケーション | <ul style="list-style-type: none"> 250 ソースレプリケーション 1000 ターゲットレプリケーション |
| Live Volume | <ul style="list-style-type: none"> 250 Live Volume 自動フェールオーバー機能を備えた 150 個の Live Volume |
| QoS プロファイル | <ul style="list-style-type: none"> 100 ボリュームの QoS プロファイル 100 グループの QoS プロファイル グループの QoS プロファイルごとに 100 ボリューム |
| シンインポート | 10 ボリューム (最大同時インポート) |

表 4. Storage Center 拡張性ガイドライン - SCv2000 シリーズのストレージシステム向け

Storage Center オブジェクト 最大サポート

| | |
|------|--|
| ドライブ | <ul style="list-style-type: none"> SCv2000 - 168 ドライブ (合計数)、156 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) |
|------|--|

表 4. Storage Center 拡張性ガイドライン - SCv2000 シリーズのストレージシステム向け (続き)

| Storage Center オブジェクト | 最大サポート |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> SCv2020 - 168 ドライブ (合計数)、144 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) SCv2080 - 168 ドライブ (合計数)、84 ドライブ (SAS チェーンごとのドライブ数) |
| ディスクフォルダ | 4 ディスクフォルダ |
| サーバ | <ul style="list-style-type: none"> 100 サーバ (サーバの合計数には物理サーバ、仮想サーバ、サーバクラスタが含まれる) 100 サーバフォルダ 200 サーバの HBA イニシエータポート (HBA イニシエータポートの合計数には SAN に表示できるすべての物理 / 仮想ポートが含まれる) |
| ボリューム | <ul style="list-style-type: none"> 最大ボリューム サイズ 500 TB (またはアドレス可能な最大ストレージ容量、いずれか小さい方) 1000 ボリューム 500 ボリュームフォルダ |
| Data Instant Replay(スナップショット) | <ul style="list-style-type: none"> 2000 のスナップショット 1000 のスナップショットプロファイル 100 のスナップショット履歴プロファイル ボリュームごとに 100 スナップショット 100 コンシステンシー グループ コンシステンシー グループごとに 25 ボリューム |
|  メモ: Data Instant Replay はライセンスが必要な機能です。 | |
| レプリケーション | <ul style="list-style-type: none"> 124 ソースレプリケーション 1000 ターゲットレプリケーション |
| QoS プロファイル | <ul style="list-style-type: none"> 100 ボリュームの QoS プロファイル 100 グループの QoS プロファイル グループの QoS プロファイルごとに 100 ボリューム |
| シンインポート | 10 ボリューム (最大同時インポート) |

修正された問題

次の項では、Storage Center 7.4 で解決された問題について要約しています。

アラートとレポートに関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 5. Storage Center 7.4.20 で修正されたアラートとレポートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-52698 | SMTP ポリシーにより HELO または EHLO メッセージで SMTP サーバーのホスト名が求められている場合、Storage Center でカスタマー アラートの送信に失敗する可能性があります。 |

表 6. Storage Center 7.4.10 で修正されたアラートとレポートの問題

| 問題 | 説明 |
|-------------------------------|---|
| SCOS-58784 (以前の SCOS-58783) | Storage Center 7.4.2 にアップデートした後、1378 W の低ライン PSU を搭載した SCv3000 シリーズまたは SC5020 ストレージ システムで、PSU が誤ったワット数を報告しているというアラートが表示される場合があります。 |
| SCOS-58505 | [[Storage Center 設定]] ダイアログ ボックスの [[SMTP サーバー]] 設定ページで [[サーバーのテスト]] リンクをクリックしたとき、送信される E メールに [[共通件名行]] フィールドのテキストが使用されません。 |
| SCOS-56791 | RemoveOutstandingTrap 関数のインデックスの不備が原因で、SNMP サブエージェントがリセットされることがあります。 |

表 6. Storage Center 7.4.10 で修正されたアラートとレポートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-55750 | Storage Center に新しいドライブをインストールすると、ドライブの使用経過年数が 136 年であるという誤った内容がレポートされることがあります。 |

表 7. Storage Center 7.4.2 で修正されたアラートとレポートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-55661 | コントローラーの再起動時に、コントローラーから syslog サーバー設定ファイルが削除される場合があります。 |
| SCOS-55390 | Storage Center アラート サブシステムのスレッド化の問題のため、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-51965 | Storage Center を SC280、SCv360、SCv420 拡張エンクロージャーに接続する際に 4 メートルを超える Dell SAS ケーブルを使用すると、Storage Center で誤ったアラートが生成されることがあります。SC280、SCv360、SCv420 拡張エンクロージャーでは、4 メートルを超える Dell SAS ケーブルを使用しても問題ありません。 |
| SCOS-51847 | Storage Center ログには、多くの不要なメッセージ (Lock ownership reacquired while lock outstanding, lock 'RAID Device Table Lock) が含まれている可能性があります。 |
| SCOS-54175 | 作成時間のない Storage Center アラートは CloudIQ には表示されません。 |
| SCOS-50002 | メッセージ [Exiting SCSIVolume::CASet] の数が多すぎる場合は、Syslog に表示されることがあります。 |
| SCOS-49321 | SC7020、SC5020、SCv3000 シリーズのストレージシステムで、未設定の iSCSI ポートに対して iSCSI ポート ダウン アラートが発生する場合があります。 |
| SCOS-48807 | デュアルコントローラー ストレージシステム内のコントローラーの時刻が一致していないと、一部の Data Progression 機能が正常に実行されない可能性を示す Storage Center システムアラートが追加されました。 |
| SCOS-48350 | Storage Center の顧客による編集が可能な名前が、Storage Center の E メール アラートの件名行に含まれるようになりました。 |

データ削減に関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 8. Storage Center 7.4.20 で修正されたデータ削減の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-60622 | Storage Center が、重複排除をサポートするページプールの [重複排除対応] 属性を False に変更したままであるために、重複排除が一時停止する可能性があります。 |
| SCOS-60438 | オーバーフロー状態が発生すると、重複排除のガベージコレクション プロセスが失敗する場合があります。 |
| SCOS-60386 | Storage Center 7.4.5 で導入された変更のため、ストレージシステムで部分的なページの完全なデフラグメンテーションを実施できない場合があります。 |
| SCOS-60224 | メモリーリークが原因で、データ最適化メモリーが使い果たされると、最適化されたデータが使用不可になる場合があります。 |
| SCOS-58788 | Data Progression の実施後に、アクティブなスナップショットのページ統計情報が不正確になる場合があります。 |
| SCOS-54606 | 圧縮を使用しているストレージシステムにおいて、メモリー不足エラーにより Data Progression が失敗する場合があります。 |

表 9. Storage Center 7.4.2 で修正されたデータ削減の問題

表 9. Storage Center 7.4.2 で修正されたデータ削減の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-55306 | DPM デフラグと Data Progression が同時に実行されていると、Data Progression が一時停止され、再開できない場合があります。 |
| SCOS-54988 | Data Progression 中に、セカンダリーストレージデータが、失われたスペースとして、誤って回復される可能性があります。 |
| SCOS-54249 | 重複排除ディクショナリーの増加を妨げる問題が原因で、重複排除を実行しているストレージシステムの重複排除率が低くなる可能性があります。 |
| SCOS-54180 | 最適化ページが多いボリュームのあるストレージシステムで、メモリーの枯渇の問題のためにコントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-54104 | ストレージシステムが Storage Center 7.3.4 以降にアップデートされた後、データ最適化重複排除対応属性が FALSE に設定されるため、ストレージシステムで重複排除が失敗する場合があります。 |
| SCOS-54101 | DPM/PPM の失われた部分ページ数が多すぎると、RAID 再ストライプが進行できない場合があります。 |
| SCOS-52707 | 重複排除ディクショナリーが大きくなりすぎると、16 GB のメモリーがある SC8000 コントローラーがリセットされる可能性があります。 |
| SCOS-49144 | メモリから誤ってテーブルエントリが読み込まれたことが原因でペイロードチェックサムにエラーが発生すると、Data Progression が実行を停止するか、Storage Center がリセットされる場合があります。 |
| SCOS-49069 | まれに、ページプールの統合プロセスがアクティブになっている場合、ストレージシステム上でレイテンシの増大が発生する場合があります。 |
| SCOS-48236 | 再ストライプ統計は、コピーが完了する 5 分以内の時間枠では正しくない可能性があります。 |

ハードウェアに関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 10. Storage Center 7.4.20 で修正されたハードウェアの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-59595 | Chelsio T5 または T6 iSCSI HBA において、SCSI イニシエーターからの接続要求への応答としての SACK 許可オプションの設定が、ターゲット接続コードによって妨げられる場合があります、このことが読み取り I/O パフォーマンスに影響する可能性があります。 |

表 11. Storage Center 7.4.10 で修正されたハードウェアの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-59862 | SED を搭載したストレージシステムで、システムのパワー サイクルの完了後、初期化に失敗することがあります。 |
| SCOS-59486 | MVLAN フォールト ドメインおよび iSCSI QRQ ポートを装備したコントローラーで、iSCSI QRQ ポート ロジックの問題が原因となって、起動に失敗することがあります。 |
| SCOS-59111 | SCv3000 シリーズおよび SC5020 ストレージシステムの iSCSI QRQ インターフェイスが、Storage Center 7.4.2 へのアップデート後、繰り返しリセットされることがあります。 |
| SCOS-58697 | Chelsio iSCSI HBA とのリソース競合の問題が原因で、コントローラーがリセットされることがあります。 |
| SCOS-54645 | Chelsio T5 または T6 iSCSI HBA を Dell Networking スイッチに接続すると、リンク アップ障害が発生することがあります。 |

表 12. Storage Center 7.4.2 で修正されたハードウェアの問題

表 12. Storage Center 7.4.2 で修正されたハードウェアの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-56774 | ポート 2 が有効になっている Chelsio T3 iSCSI HBA を使用するストレージ システムでは、HBA が誤ったポート上のリモート イニシエーターに TCP リセット コマンドを送信することがあります。 |
| SCOS-56549 | 親フォルダーを保護対象外から保護対象に変更したときに自己暗号化ドライブ (SED) が管理中であった場合、Storage Center が SED を暗号的に消去する可能性があります。 |
| SCOS-56536 | 暗号消去が実施された後、Storage Center によるドライブの初期化が行われる前に、Storage Center が T10-PI ドライブからデータの読み取りを試みた場合、読み取りエラーが発生することがあります。 |
| SCOS-55569 | T420 ドライバーを搭載した Chelsio iSCSI HBA を使用するストレージ システムで、iSCSI 接続タイムアウトを回避するため、SG ペイロード プール サイズの上限が 768 MB から 1 GB に増やされました。 |
| SCOS-55572 | Chelsio T3 iSCSI HBA を使用するストレージ システムでは、iSCSI ドライバー メモリーの割り当てが事前に定義されたしきい値を超えた場合に、接続の問題が発生する可能性があります。 |
| SCOS-52053 | 分散スベア モードになっている Storage Center で、SC460 または SCv360 拡張エンクロージャーに対して、間違ったディスク スベアが選択される可能性があります。 |
| SCOS-49124 | BMC ファームウェアの問題により、SC4020 および SCv2000 シリーズシリーズのストレージ システムで断続的なバッテリー障害が発生する可能性があります。 |

ライセンス、SupportAssist、アップデートに関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 13. Storage Center 7.4.21 で修正されたライセンス、SupportAssist、アップデートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-61862 | Storage Center 7.4.20 を実行しているか、または Storage Center 7.4.20 にアップデートした SC5020 または SC5020F ストレージ システムで iDRAC ログイン資格情報が変更された場合、ストレージ システム コントローラーが起動に失敗する可能性があります。 |

表 14. Storage Center 7.4.20 で修正されたライセンス、SupportAssist、アップデートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-59083 | Storage Center ソフトウェアのアップデート中、リード コントローラーが再起動して、複数のドライブにドライブ自己テスト (DST) コマンドを送信します。DST コマンドが原因で一部のドライブがピア コントローラー上で停止する場合があります、これがリード コントローラーになります。 |
| SCOS-58699 | ストレージ システムを Storage Center バージョン 6.4.x 以前から Storage Center バージョン 7.3.1 以降にアップデートすると、システムのメタデータの問題がホスト I/O に影響する可能性があります。 |

表 15. Storage Center 7.4.2 で修正されたライセンス、SupportAssist、アップデートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-54886 | Phone Home デーモンが再帰ループに入ると、Storage Center が CloudIQ への SupportAssist 診断データの送信を停止する場合があります。 |
| SCOS-54088 | 以前交換された障害のあるディスクは、アップデート チェックの実行時に無視されないため、Storage Center アップデート チェックによってアップデート ブロッカーが報告される場合があります。 |
| SCOS-53468 | Storage Center 6.7 から Storage Center 7.2 以降にストレージ システムをアップデートした後、OS 定義のマップがロードされない場合があります。 |
| SCOS-52506 | Storage Center ユーザーのパスワードが 16 文字を超える場合、サービスに影響するアップデート中に Storage Center ユーザーの認証に失敗することがあります。 |

レプリケーションおよび Live Volume に関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 16. Storage Center 7.4.10 で修正されたレプリケーションおよび Live Volume の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-58967 | Storage Center 7.4.2 にアップデートした後、レプリケーション時の null ポインター エラーの発生が原因で、コントローラーがリセットされることがあります。 |
| SCOS-56743 | Live Volume Auto Failover の同期後に復元ポイントからリカバリーを実行すると、拡張したボリュームのサイズが拡張前のボリュームのサイズに戻る可能性があります。 |
| SCOS-56503 | ボリュームのインデックス値が Storage Center の Live Volume の値と同じである場合、コンシステンシー グループ スナップショット プロファイルの Storage Center ボリュームへの適用が失敗します。 |

表 17. Storage Center 7.4.2 で修正されたレプリケーションおよび Live Volume の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-51239 | Live Volume がレプリケーションに変換された後、[レプリケーションの編集] ダイアログボックスでストレージを [最下ティアへのストレージのレプリケーション] チェックボックスを選択しても、レプリケーションには影響しません。[最下ティアへのストレージのレプリケーション] チェックボックスを選択しても、Live Volume に変換されず、レプリケーションに変換しなおされたレプリケーションは機能します。 |
| SCOS-49585 | Live Volume の作成に失敗した後、ボリュームの削除に失敗する場合があります。 |
| SCOS-2474 | コントローラーのフェールオーバー中にコピー/ミラー/スワップまたはレプリケーションを削除すると、スナップショット予約が削除されない状態になる可能性があります。 |

セキュリティに関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 18. Storage Center 7.4.10 で修正されたセキュリティの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-59261 | HTTP Strict Transport Security (HSTS) Max Age 指令が、6 か月から 1 年に延長されました。 |
| SCOS-58472 | カスタム SSL 証明書の共通名でワイルドカード文字が使用されている場合、ストレージ システムを Storage Center 7.3.11 へアップデートした後に、Web サーバーを起動できません。 |

表 19. Storage Center 7.4.2 で修正されたセキュリティの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-55131 | Storage Center によって生成された自己署名 SSL 証明書は、有効期間が 825 日以下ではないため、セキュリティの脆弱性として識別されていました。 |
| SCOS-48576 | セキュリティ スキャンにより、Storage Center 管理インターフェイスの Apache ソフトウェアに脆弱性がある可能性が示されました。 |

ストレージ管理に関連する修正された問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 20. Storage Center 7.4.21 で修正されたストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-61881 | ストレージ システムのポートの再バランシングを行うと、Storage Center 7.4.20 で行われた変更のためにボリュームがダウンする可能性があります。 |

表 21. Storage Center 7.4.20 で修正されたストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-61122 | RAID デバイスが劣化状態になると、デバイス コピーの動作モードが正常でなくなる場合があります、結果としてデータの整合性に問題が発生する可能性があります。 |
| SCOS-60986 | デュアルコントローラー型のストレージ システムにおいて、SCSI イニシエーターのコマンドでセグメント違反が発生し、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-60721 | Storage Center が RAID 再ストライピングを実行している間、RAID スクラブが保留中の状態に置かれます。 |
| SCOS-60271 | ドライブがストレージ システムに追加されると、RAID デバイスのコピーによって非スクラブと見なされる RAID デバイス群が生じる場合があります、これらの RAID デバイスへの書き込みによってパフォーマンスが低下する可能性があります。 |
| SCOS-60244 | iSCSI ポートを内蔵したストレージ システムにおいて、再送信エラーを起因とする、当該ポートの新規 TCP 接続の受け入れ停止が発生する場合があります。 |
| SCOS-60231 | Data Progression サイクルの開始が繰り返し試行されることが原因で、ストレージ システムにおいてフロントエンドレイテンシーが発生する場合があります。 |
| SCOS-60203 | FC ポートと iSCSI ポートを搭載したデュアルコントローラー型のストレージ システムにおいて、フロントエンド ポートの再バランシング中に両方のコントローラーの iSCSI ポートのステータスがアップになったりダウンになったりすると、別の FC ポートが使用できなくなる場合があります、コントローラーの特定のストレージが使用不可能になる可能性があります。 |
| SCOS-59488 | 拡張コピー (XCOPY) コードのエラーにより、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-58972 | デュアルコントローラー型のストレージ システムにおいて、ストレージ システムが不適切にシャットダウンされると、その後、両方のコントローラーが繰り返しリセットされる場合があります。 |
| SCOS-58834 | 非 Windows ホストにフロントエンド SAS 接続されたデュアルコントローラー型のストレージ システムにおいて、null ポインターの例外により、初期化中にコントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-57356 | スナップショットの [有効期限] を [有効期限なし] に変更し、スナップショットのローカルコピーの作成を [スナップショットのコピー] オプションが選択された状態で行った場合、スナップショットのローカルコピーは [スナップショット プロファイル] の元の有効期限が適用された形で作成されます。この [スナップショット プロファイル] の元の有効期限がすでに失効している場合、スナップショットのコピーは直ちに有効期限切れとなります。 |

表 22. Storage Center 7.4.10 で修正されたストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-58492 | 読み取り障害状態で RAID の再構築を再試行すると、Storage Center がエクステント コピーのアカウントに失敗します。 |
| SCOS-58292 | 大量の MC セッションを有するストレージ システムを Storage Center 7.2.51 から Storage Center 7.3 にアップデートすると、MC セッションがタイムアウトになり、コントローラーがリセットされることがあります。 |
| SCOS-56490 | PagePoolDevice が削除エラーにマークされていることが原因で、RAID の再ストライプが完了しないことがあります。 |
| SCOS-56041 | SED の管理中に新しい SED ドライブが保護対象のディスク フォルダーから保護対象外のディスク フォルダーに移動された場合、コントローラーがリセットされることがあります。 |
| SCOS-55888 | メモリー割り当てでエラーが発生した後に、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-55685 | 操作を実行する要求がスタックしている場合、Storage Center でディスク オブジェクトの削除またはディスク オブジェクトのディスク フォルダーの変更に失敗する場合があります。 |
| SCOS-50357 | セカンダリー ストレージ デバイスを破棄する際にセカンダリー ストレージ デバイスのブルーニング判定が行われた場合、コントローラーがリセットされることがあります。 |
| SCOS-20076 | 履歴がセカンダリー ストレージから分離されている場合、セカンダリー ストレージのページ読み取り中にコントローラーがリセットされることがあります。 |

表 23. Storage Center 7.4.2 で修正されたストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-58375 | 4096 バイト以上のセクター サイズのドライブを搭載したデュアルコントローラー ストレージシステムでは、I/O アライメントの問題によってページ プールの障害が発生したために、コントローラーのフェールオーバーが発生しない場合があります。 |
| SCOS-58210 | デュアルコントローラー ストレージ システムでは、メモリー割り当ての問題のためにコントローラーがリセット ループに入っている可能性があります。 |
| SCOS-57359 | Storage Center が関連付けられた仮想化ボリュームまたはハイパーボリュームに NULL ポインターを返すと、コントローラーがリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-56244 | メモリー リークが原因でコントローラーがリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-56076 | メタデータのページングに問題があるため、コントローラーがリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-55944 | 容量の不足している残りのデバイスのみが削除されると、Storage Center でディスクの空き容量アラートをクリアしようとして失敗した可能性があります。 |
| SCOS-55897 | フォールト ドメインごとに 2 ポートのデュアルコントローラー ストレージ システムで、お客様が次の処置を実行すると、ボリュームがアクセス不能になる場合があります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. お客様が、フォールト ドメイン内のコントローラー ポートに接続されているスイッチ ポートを無効にします。 2. お客様が Storage Center でポートの再バランス調整を実行します。 3. お客様が、手順 1 のポートと同じフォールト ドメインにある他のコントローラー ポートに接続されているスイッチ ポートを無効にします。 4. お客様がステップ 1 からスイッチ ポートを再度有効にします。 5. お客様がステップ 3 からスイッチ ポートを再度有効にします。 |
| SCOS-55835 | コントローラーは、遅延キューから IORP をキュー解除するときに Storage Center が NULL ポインターをスキップできないため、複数の日に同時にリセットされる場合があります。 |
| SCOS-55713 | ユーザーがテキスト [Default] で始まる名前を持つグループ タイプのトラフィック プロファイルを作成した場合、Storage Center にビュー ボリュームを作成することはできません。 |
| SCOS-55468 | Storage Center バージョン 7.1 以前から Storage Center にアップデートされているデュアルコントローラー ストレージ システムでは、スクラブ RAID デバイスがアップデート中に誤ったリードソロモン属性を採用する場合があります。 |
| SCOS-55267 | SNMP が、SC7020、SC5020、および SCv3000 シリーズのストレージ システムの電源装置および冷却ファンモジュールに関する情報を取得できません。 |
| SCOS-55147 | Storage Center に存在しなくなったサブコンポーネントと通信しようとするバックグラウンド処理が原因で、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-55136 | SCv2000 シリーズおよび SC4020 ストレージ システムで、キャッシュツーフラッシュ復元エラーのためにコントローラーがリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-54981 | デュアルコントローラー ストレージ システムでは、SCSI ターゲットは、他のコントローラーでアクティブなボリュームに対する永続的な予約要求を処理できません。 |
| SCOS-54737 | 元々は Storage Center 5.5 以前で導入されたストレージ システムでは、ページプール デバイスの再ストライピングの完了に時間がかかる場合があります。 |
| SCOS-54696 | 使用可能なディスク容量が少ないストレージ システムを、分散スペアリングをサポートしない Storage Center のバージョンから、分散スペアリングをサポートする Storage Center のバージョンにアップデートする場合、使用可能な容量がなければ、Storage Center はより多くのスペア容量を作成しようとする可能性があります。 |
| SCOS-54626 | Storage Center は、容量最適化としてマークされているページプール デバイスの削除に失敗する場合があります。 |
| SCOS-54597 | コントローラーは、メモリー アカウンティング ルーチンのエラーのためにリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-54592 | デバイスを交換するティアに新しいデバイスを作成するための十分な容量がない場合、RAID 再ストライプが動かなくなることがあります。 |
| SCOS-54172 | 複数のディスクへの書き込みが同時に失敗すると、Storage Center RAID デバイスが劣化する場合があります。 |

表 23. Storage Center 7.4.2 で修正されたストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-54122 | ドライブがストレージ システムに追加されると、ページプール デバイスがプルーニング用に正しくマークされない可能性があります。 |
| SCOS-53504 | ストレージ システムが http リクエストを送信できない接続問題によって、初期化されていない http リクエストの削除に問題があると、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-53429 | Storage Center の SNMP 設定が変更され、SMTP サブエージェント デモンが再起動されたときに表示される、次のログ メッセージが変更されました。 |
| | <pre>Warning, Daemon, , snmpSubagent: (((((((((((((SIGTERM))))))))))))))</pre> <p>上のメッセージが次のように変わります。</p> <pre>SNMP Sub-agent daemon is restarting to reflect the updated configuration</pre> |
| SCOS-53078 | デュアルコントローラー ストレージ システムが Storage Center 7.2 から Storage Center 7.3 にアップデートされると、不適切なキャッシュフラッシュによって、コントローラーのフェールオーバー中にコントローラーが動かなくなる可能性があります。 |
| SCOS-53073 | SCv3000 シリーズ、SC5020、SC5020F、SC7020、および SC7020F ストレージ システムでは、IPMI over LAN を使用した Storage Center と iDRAC 間の通信によって、iDRAC が 24 時間ごとにリセットされる場合があります。 |
| SCOS-53017 | メモリーの解放中に CPU が過剰に使用されたために、コントローラーがリセットされた可能性があります。 |
| SCOS-51852 | ストレージ システムが Storage Center 7.2 以前から Storage Center 7.3 にアップデートされると、ストレージ システムで、スペアの最適化機能が自動的に有効になる場合があります。 |
| SCOS-51777 | ストレージ システムが Storage Center 7.2.51 以前から Storage Center 7.3 にアップデートされると、コントローラーが応答しなくなった場合、デュアルコントローラー SC9000 ストレージ システムが予期せずリセットされることがあります。 |
| SCOS-51737 | コントローラーのスクラブ エラーの合計数は、コントローラーのリセット後は維持されません。 |
| SCOS-51692 | 大容量ストレージ システムの場合、Data Progression が完了するまでに数日かかることがあります。 |
| SCOS-50562 | IPMI null ポインター エラーのため、コントローラーがリセットされる場合があります。 |
| SCOS-49760 | ストレージ システムは、ボリューム IORP メモリー リークのために、使用可能なメモリーの 90% 以上を消費している可能性があります。 |
| SCOS-49035 | ディスクのリリースがキャンセルされたときに、Disk Initializer の管理ステータスが正しくリセットされていません。 |
| SCOS-48764 | 進行状況の情報のメンテナンスが不適切なために、再ストライプがループに詰まり、先に進まないことがあります。再ストライプ完了時間の見積もりを改訂。 |
| SCOS-19650 | Storage Center が緊急モードになっていて、スナップショット機能のライセンスがない場合、Storage Center で容量管理 Replay (スナップショット) を期限切れにすることはできません。 |

ユーザーインターフェースに関連する修正済みの問題

以下の問題は、Storage Center 7.4 で修正されました。

表 24. Storage Center 7.4.10 で修正されたユーザー インターフェイスの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-59533 | [Mac OS X 10.x MPIO] および [VMware ESXi 7.0] が、Storage Center のサーバー オペレーティング システム リストに追加されました。 |

表 25. Storage Center 7.4.2 で修正されたユーザー インターフェイスの問題

表 25. Storage Center 7.4.2 で修正されたユーザー インターフェイスの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-58275 | ストレージ システムでは、HTTP クライアント リクエストがループしているため、CPU 使用率が 100%になる場合があります。 |
| SCOS-55290 | Storage Manager Client および Unisphere Web インターフェイスに、ストレージ ティアの正確な重複排除と圧縮統計情報が表示されません。 |
| SCOS-53443 | Storage Center が DNS サーバーと通信できない場合、Unisphere Web インターフェイスを使用して Storage Center に接続しようとするとう失敗することがあります。 |
| SCOS-52572 | 多くのサーバーがあるクラスターに Live Volume がマップされている場合、まれに Storage Manager Client で Live Volume がレプリケーションとして誤って表示されることがあります。 |
| SCOS-51215 | iSCSI インターフェイスが Storage Center フォールト ドメインから削除されても、iSCSI インターフェイスの IP アドレスは解放されません。 |
| SCOS-50682 | Storage Manager Client および Unisphere Web インターフェイスに SC460 または SCv360 拡張エンクロージャー設定が正しく表示されません。 |
| SCOS-48963 | Data Collector で最小パスワード日数要件が有効になっている場合、パスワードを変更しようとすると、パスワードが [[最小日数]] の設定を満たしていない場合にコマンドが失敗します。 |
| SCOS-44778 | Storage Center で NTP が設定されていない場合、コントローラー間の時刻に不一致があると、ユーザーが Storage Manager Client または Unisphere Web インターフェイスを使用して Storage Center にログインできなくなる可能性があります。 |

既知の問題

次の項では、Storage Center 7.4 の既知の問題を要約しています。

アラートとレポートに関連する既知の問題

以下の既知の問題は、アラートおよびレポート関連の問題です。

表 26. 既知のアラートとレポートの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-62354 | SCv3000 シリーズ、SC5020、および SC7020 ストレージ システムで、BIOS と iDRAC に正しい DIMM 速度が表示されない場合があります。 対策 : BIOS および iDRAC に表示される間違った DIMM 速度は無視してかまいません。 |
| SCOS-60273 | サードパーティの LDAP クライアントを使用するアプリケーションが原因で、Windows で誤ったイベント ID 2889 のメッセージ エントリが生成される場合があります。この問題が発生するのは、LDAP インターフェイス イベントがログに記録され、LDAPServerIntegrity 設定が 2 に設定されている場合です。 対策 : イベント ID 2889 メッセージ エントリは無視できます。 |
| SCOS-38226 | まれに、状態が修正されると、同期 Live Volume の自動フェイルオーバーアラートがクリアされないことがあります。 対策 : Storage Manager を使用して手動でアラートの確認および消去を行います。 |

データ削減に関連する既知の問題

以下の既知の問題は、データ削減関連の問題です。

表 27. 既知のデータ削減の問題

表 27. 既知のデータ削減の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-13237 | データ削減の対象となるデータの量が 256 ページ未満の場合、ストレージタイプのデータ削減の統計情報が誤っている可能性があります。 対策 ：なし |

ハードウェアに関連する既知の問題

以下の既知の問題は、ハードウェア関連の問題です。

表 28. 既知のハードウェアの問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-52646 | BIOS または起動前シーケンスの問題により、SC9000 コントローラーの起動サイクルが応答を停止したり、数回再起動したりする場合があります。 対策 ：コントローラーから両方の電源ケーブルを外し、1分待ってから、コントローラーに電源ケーブルを再度接続して、SC9000 コントローラーのコールドブートを実行します。 |
| SCOS-49735 | SCv3000 シリーズ、SC5020、または SC7020 ストレージシステムで、XL710 メザニン カードの Intel ブランドの SFP+モジュールのポートが、アップとダウンの無限ループに陥ることがあります。 対策 ：XL710 メザニン カードでは、Intel ブランドの SFP+モジュールではなく、Dell ブランドの SFP+モジュールを使用してください。 |

レプリケーションおよび Live Volume に関連する既知の問題

以下の既知の問題は、レプリケーションおよび Live Volume 関連の問題です。

表 29. 既知のレプリケーションと Live Volume の問題（続き）

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-60092 | Live Volume がストレージシステムで有効になっている場合、Storage Center のファームウェアのアップグレード中に Live Volume の自動フェールオーバーが発生すると、ストレージシステムの Live Volume にアクセスできなくなることがあります。 対策 ：ストレージシステムでアップグレードまたは既知のメンテナンスを実行する前に、Live Volume の自動フェールオーバーを無効にします。ストレージシステムの作業が完了した後、Live Volume の自動フェールオーバーを有効にします。 |
| SCOS-59752 | Storage Center から PS グループへのレプリケーション時に、レプリカの予約のサイズが 105%に設定されている場合、宛先の PS グループで進行中のレプリカは容量の借用制限が超過した時点で削除されます。ソースの Storage Center はリモート ディスクがダウンしていると報告し、再試行状態に移行します。 対策 ：レプリケーションを再シードし、レプリカの予約のサイズを 200%に設定します。 |
| SCOS-55072 | ボリュームがセカンダリー ストレージシステムに正常にライブ移行された後に Windows ホストが再起動すると、ホストがボリュームにアクセスできない場合があります。 対策 ：テクニカルサポートに連絡してください。 |
| SCOS-41280 | Windows 2016 クラスタソリューション内の Storage Center でクラスタ共有ボリューム (CSV) を使用すると、Windows ホストの1つがそのピアとそのクォーラム監視の両方から隔離されたインフラストラクチャ障害状態にあるときに I/O エラーが発生する場合があります。 対策 ：冗長物理スイッチを使用して I/O 障害の可能性を低減します。 |
| SCOS-17981 | サーバーをクラスタから削除する前に、Storage Manager を使用してクラスタから削除すると、サーバー マッピングが完全には削除されない場合があります。 |

表 29. 既知のレプリケーションと Live Volume の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| | <p>対策: 最初にオペレーティング システムを介してクラスターからサーバーを削除します。サーバーの再起動後に、Storage Manager を使用してサーバー オブジェクトを削除します。</p> <p>サーバーを1つの Storage Center からのみ削除した場合、またはボリュームのマッピングを1つの Storage Center でのみ解除した場合、プライマリー ボリュームとセカンダリー ボリューム間の永続的な予約の整合性が維持されなくなる場合があります。</p> <p>対策: クラスターから任意のサーバーを削除する場合、またはボリュームのマッピングを解除する場合は、次の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Storage Center で変更を行う前に、サーバーをクラスターから削除するか、サーバー側のボリュームのマッピングを解除します。 両方の Storage Center でサーバーを削除するか、両方の Storage Center のボリュームのマッピングを解除します。 |
| SCOS-14322 | <p>Live Volume を作成し、レプリケーション パスがコントローラーごとに1つのみの場合、「one path to disk」というアラートが生成されます。</p> <p>対策: なし</p> |
| ENHTKR-90 | <p>ボリュームをインポートしたとき、Storage Manager の LUN 番号に 0 を選択できません。</p> <p>対策: ボリュームをインポートした後に、ボリュームの LUN 番号を 0 に変更します。</p> |

ストレージ管理に関連する既知の問題

以下の既知の問題は、ストレージ管理関連の問題です。

表 30. 既知のストレージ管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|--|
| SCOS-59639 | <p>IPMI/KCS ドライバー エラーによってタイムアウトが発生したため、コントローラーがリセットされた可能性があります。</p> <p>対策: 各コントローラーの iDRAC (BMC) の IP アドレスを、ルーティングできないアドレス (0.0.0.0 など) に設定します。</p> |
| SCOS-40588 | <p>Storage Manager Data Collector を使用してストレージ システムに接続し、レガシー モードで iSCSI フォールト ドメインを設定すると、「Unable to access controller port information」というエラーが発生し、iSCSI フォールト ドメインのポートが1ポートだけになる場合があります。</p> <p>対策: Storage Manager Client を使用して直接ストレージシステムに接続してから、レガシーモードで iSCSI フォールトドメインを設定してください。</p> |
| SCOS-22150 | <p>まれに、SC7020 または SC5020 ストレージ システム上のコントローラーのフェールオーバーによってセキュア コンソール アクセスが妨げられる場合があります。</p> <p>対策: テクニカルサポートに連絡してください。</p> |
| SCOS-22026 | <p>HBA またはサーバー オブジェクトをボリュームからマッピング解除する前に削除すると、サーバーからボリュームへのアクセスが失われ、コントローラーのフェールオーバーが正しく完了できない場合があります。</p> <p>対策: テクニカルサポートに連絡してください。</p> |
| HPPEM-541 | <p>まれに、SC7020 アップデートが正常に完了せず、アップデートが依然として必要であることが Storage Center によって示される場合があります。</p> <p>対策: テクニカルサポートに連絡してください。</p> |

ユーザー管理に関連する既知の問題

以下の既知の問題は、ユーザー管理関連の問題です。

表 31. 既知のユーザー管理の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-11192 | Storage Center は、代替 DNS サフィックスを使用するように設定されたディレクトリサービスユーザーを認証できません。 対策 ：なし |

ベンダーに関連する既知の問題

以下の既知の問題は、ベンダー関連の問題です。

表 32. ベンダーの既知の問題

| 問題 | 説明 |
|------------|---|
| SCOS-62922 | 複数の論理スイッチが設定された、Fabric OS v8.2.0、v8.2.1、v8.2.2 を実行している Brocade ファイバー チャネル スイッチに接続された後に、ファイバー チャネル ポートが再起動する場合があります。 対策 ：Fabric OS v8.2.0、v8.2.1、v8.2.2 のスイッチ設定で、 <code>fabric.rdp_poll_cycle</code> の設定を 0 にします。この問題は、Fabric OS v8.2.3 および v9.0.0 で修正されています。 |
| SQAI-9 | FCoE および QLogic 8262 コンバージド ネットワーク アダプター (CNA) を使用している ESXi 5.5 (アップデート 3b) ホストが原因で、コントローラーのフェールオーバー中にホストのエラーが発生する場合があります。 対策 ：アダプターの QLogic ファームウェアをアップデートしてください。QLogic のファームウェアは、 https://www.dell.com/support/home/us/en/19/Drivers/DriversDetails?driverId=6RGDW で入手できます。 |
| SQAI-3 | NIC モードで CNA を使用していると、ソフトウェア FCoE のタイムアウトが発生することがあります。 対策 ：アダプターの QLogic ファームウェアをアップデートしてください。QLogic のファームウェアは、 https://www.dell.com/support/home/us/en/19/Drivers/DriversDetails?driverId=6RGDW で入手できます。 |
| SQAI-2 | Emulex FC/FCoE HBA ドライバーのバージョン 11.0.x.x を実行している ESXi 5.5 または 6.0 ホストが、コントローラーのフェールオーバー時にリセットすることがあります。 対策 ：ESXi 5.5、6.0、6.5 の Dell 最新のカスタムイメージにアップデートしてください。 |
| SQAI-1 | Emulex LPe12002 ブート コード バージョン 7.00a2 と Linux サーバー RHEL 6.8、SLES 12、XenServer 7.0 では、SAN からの Fibre Channel ブートが動作しません。 対策 ：Emulex 12002 ブートコードのバージョンを 11.20a8 以降にアップデートしてください。 |
| SCOS-27133 | サーバーの iSCSI イニシエーターで割り込みモデレーションがデフォルトまたは有効に設定されていると、SC7020 のオンボード 10 Gb Ethernet ポートに対するサーバーの帯域幅が読み取り時に大幅に減少します。 対策 ：Windows Server の場合、『 Dell EMC SC Series ストレージ：Microsoft マルチパス I/O のベストプラクティス 』の説明に従って、iSCSI カードの割り込みモデレーションを無効にします。Windows 以外のオペレーティングシステムの場合は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、割り込みモデレーション設定の変更手順を確認します。たとえば Linux の場合、 <code>ethtool</code> ユーティリティを使用して割り込みモデレーションの設定を変更します。 |

制限

Storage Center 7.4 には、次の制限事項があります。

ポータブル ボリューム

Storage Center 7.4 はポータブル ボリュームをサポートしていません。

ポータブル ボリュームは、Storage Center 7.2 以前でサポートされています。

サポートリソース

次の項では、Storage Center ストレージ システムの使用に関する詳細情報を検索するためのリソースを提供します。

Storage Center のアップデート情報

テクニカルサポートに連絡して、Storage Center 7.4 へのアップデートが必要な Storage Center ソフトウェアのバージョンを確認してください。

① メモ: Storage Center および Storage Manager ソフトウェアの両方を更新する場合は、まず Storage Manager ソフトウェアをアップデートしてから、Storage Center ソフトウェアをアップデートしてください。Storage Center ソフトウェアの新しいバージョンを実行しているストレージシステムは、Storage Manager ソフトウェアの旧バージョンでは管理できません。

関連マニュアル

Storage Center 7.4 を実行するストレージシステムには、次のマニュアルが利用できます。

- 『Storage Center Software Update Guide』(Storage Center ソフトウェアアップデートガイド)
Storage Center ソフトウェアの以前のバージョンから最新バージョンへのアップグレードの方法を説明します。
- 『Storage Center Update Utility Administrator's Guide』(Storage Center Update Utility 管理者ガイド)
Storage Center Update Utility を使用して Storage Center ソフトウェアのアップデートをインストールする方法を説明します。Storage Center Update Utility を使用した Storage Center ソフトウェアのアップデートは、標準的な手法による Storage Center のアップデートが不可能な設置場所でのみ使用することを意図しています。
- 『Storage Manager Release Notes』(Storage Manager リリースノート)
新機能、拡張機能、修正された問題、既知の問題など、Storage Manager ソフトウェア リリースに関する情報について説明します。
- 『Storage Manager Installation Guide』(Storage Manager インストールガイド)
Storage Manager ソフトウェアのインストールおよびセットアップ手順について説明します。
- 『Storage Manager Administrator's Guide』(Storage Manager 管理者ガイド)
Storage Manager ソフトウェアの使用方法について説明します。
- 『Unisphere and Unisphere Central Administrator's Guide』(Unisphere および Unisphere Central 管理者ガイド)
Unisphere および Unisphere Central を使用してストレージ システムを管理するための手順と情報が記述されています。
- Dell Storage REST API リリースノート
Dell Storage REST API に関する情報を提供することで、Storage Manager の Data Collector および Storage Center を管理できるようになります。

マニュアルの入手方法

Storage Center 製品に関するマニュアルは次の場所から入手できます。

- Dell サポート
Storage Center ストレージ システムに関するマニュアルを入手できます。 www.dell.com/support にアクセスしてください。
- Dell TechCenter

Storage Center ストレージ システムに関する技術的なホワイト ペーパー、ベストプラクティス ガイド、およびよくあるお問い合わせを提供します。 <https://en.community.dell.com/techcenter/storage/> にアクセスしてください。

Dell へのお問い合わせ

Dell では、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。サポートとサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスに関する問題について Dell にお問い合わせいただく場合は、[Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。

- カスタマイズされたサポートを受けるには、サポートページでお使いのシステムのサービスタグを入力し、[送信] をクリックしてください。
- 一般的なサポートについては、サポートページで製品リストを参照し、お使いの製品を選択してください。

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。